

## 昭和51年度第2回シグマ委員会幹事会議事録

日 時 昭和51年11月10日(水) 11:15~17:00  
場 所 日本原子力研究所東海研究所 研2棟222号室  
出席者 塚田(主査:原研), 百田(東北大), 松延(住友), 飯島(NAIG),  
更田, 五十嵐, 田中(茂), 浅見(哲)(原研)  
欠席者 久武, 中嶋, 大竹, 桂木

### 配布資料

1. 前回議事録
2. Adopted Agenda for the 19th Meeting of the NEA-Nuclear Data Committee in Stockholm, 20th-24th September 1976
3. List of documents distributed at the 19th NEANDC meeting
4. NEANDC Series of Monographs on Neutron Physics in Science and Technology, General Information Sheet
5. Coming Meetings on Nuclear Data
6. Proposed Program for International Specialists Symposium on Neutron Standards and Applications, March 28-31, 1977
7. NEA Working Group on Nuclear Energy Information NINF-A-60, NINF-A-61
8. Towards improved co-ordination in the nuclear data measurement programmes within the EEC (B. Rose)
9. Chairman's Summary and Meeting Highlights (CSEWG)
10. Objectives and Organization of the Second Advisory Group Meeting on Fission Product Nuclear Data (FPND)
  11. Dr. J. Rosénからの手紙
  12. Dr. R. E. Chrienからの手紙
  13. シグマ委員会組織検討特別小委員会第1回会合議事録

### 議 事

1. 前回議事録確認

前回議事録に関連して, BNL-325, 3rd. ed. は三菱総合研究所を通じて買える旨紹介があつた。

## 2. NEANDC 第19回会合

塚田主査より資料1にもとづいて詳しい説明があつた。技術的な話題以外の主なものとして、今会合の特徴は subcommittee の議論に多くの時間をさき技術的検討が行われたこと、barn 単位の廃止の動きに反対することで意見が一致し各方面へ働きかけることになつたこと、Regional conference on nuclear data の series に日本が加わるかどうかを検討する必要のあること等が述べられた。関連事項について議論が行われ、

- NEANDC の chairman の順番が日本へ廻ってくる時期であるが、相当の激務なので引受けるのはむずかしいのではないか。
- Regional conference in Japan の可能性については、日本でやる場合、いくつかの merit があるものの、費用の捻出、内容のあるものにする事等で多くの問題がある。

との意見があり、Regional conference については更田委員が予算のことも含めて Schmidt 氏に聞いてみる事、また、この件は継続的に本委員会等で討議することになつた。

## 3. NNDEN の additional role と distribution list

NNDEN に CINDA と同じ index が付くことになつたこと、追加すべき配布先を連絡して欲しいとの要求があつたことが述べられた。配布先は事務局で検討して連絡するが、意見があつたら事務局へ出してもらふことになつた。

## 4. 組織検討特別小委員会

更田委員より配布資料13の議事録により報告があつた後、本委員会のあり方、本委員会と幹事会との関連等について意見交換が行われた。

## 5. CCDN-CPL 合併問題

10月14日のNEA Steering Committee 会合で行われたCCDN-CPL 合併問題の議論について、更田委員より説明があつた。

## 6. Compilation of National Nuclear Data Committees

これについては、本委員及び田中(一)氏他4名の名簿を送ることにした。  
address はアンケートでチェックすることにした。

## 7. Nuclear Structure and Decay Data

日本からの論文の bibliography 作成は日本としてやる予定であること、

mass chain evaluationについては10名近くの協力者がいるので日本でやれる見込みである。核燃料計量専門部会の関係者で煮詰めWGをつくってやりたい意向のあることが紹介された。なお、この件については核データ小委員会で重ねて議論する。

#### 8. Bibliography on Thermal Neutron Scattering

Brockhouse が compilation を止めるに当たり、星野氏（東大物性研）を通じ肩代りをして欲しい旨話があった。W. G では磁性関係も含めてやりたい意向がある。

#### 9. 学会誌特集企画

意見があつたら事務局へ連絡して欲しい。次回に具体的に検討する。

#### 10. 52年春の学会の企画

インフォーマル・ミーティングではNEAなどの情報をもつと流す必要があるとの指摘があつた。次回にさらに検討することにした。

##### 11. JENDL-1 検討会

52年1月末に行いたい旨の説明があつた。

##### 12. TND の評価についての IAEA との Research Agreement

このための下打合せが12月中旬ウィーンで開かれるので、更田委員が出席する予定である。

##### 13. Nuclear Data for Safeguards に関するレポートの作成

来年5月のINDCの会合に提出する予定で作業をすすめていることが紹介された。

#### 14. その他

##### 1) JENDL-1 の公開前の扱い

公開前の使用希望については、漸定的処置として核データ利用申込書で原子核データ室に申し込んでもらうこととした。

##### 2) 1977年 Tokyo Conference の Post Symposium については、出席予定者がはっきりした上で検討することとした。

次回は12月23日（木）の予定

以上